

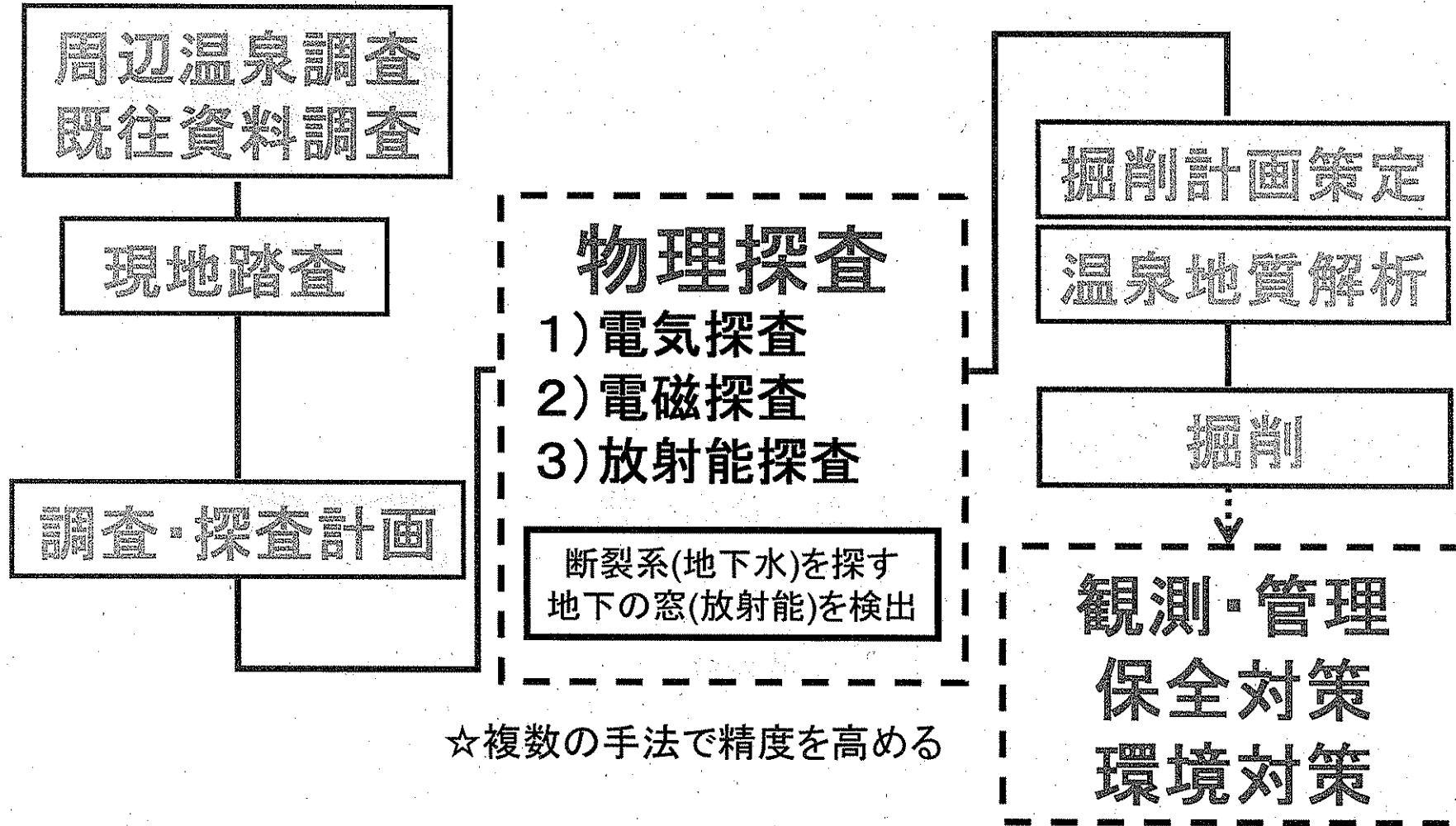
温泉資源探査・影響調査と保全

(社)全国地質調査業協会連合会
関東地質調査業協会

土屋彰義

平成18年10月6日

1. 温泉調査の流れ



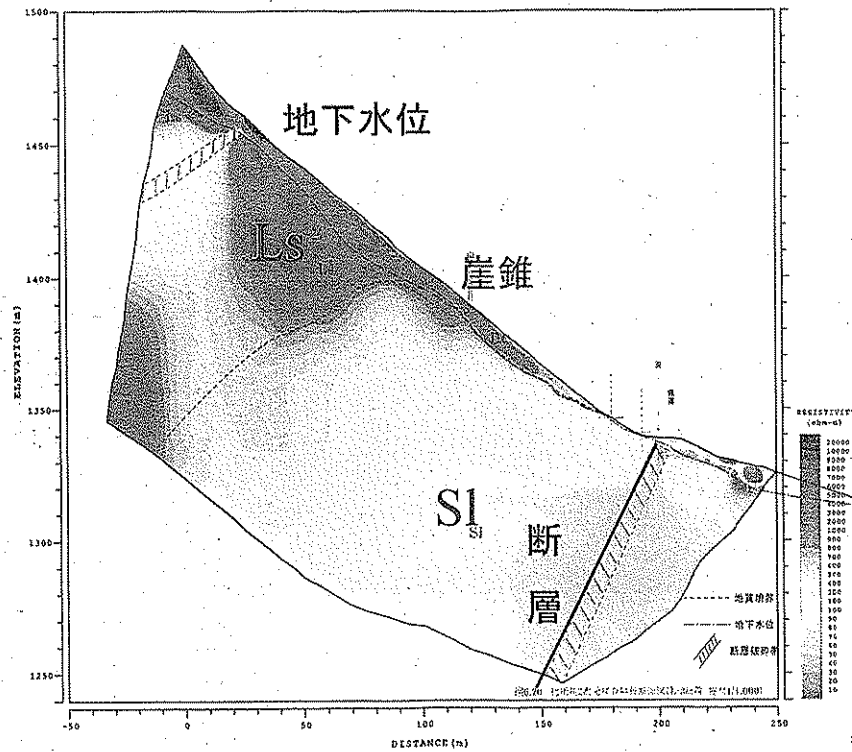
☆複数の手法で精度を高める

2. 物理探査

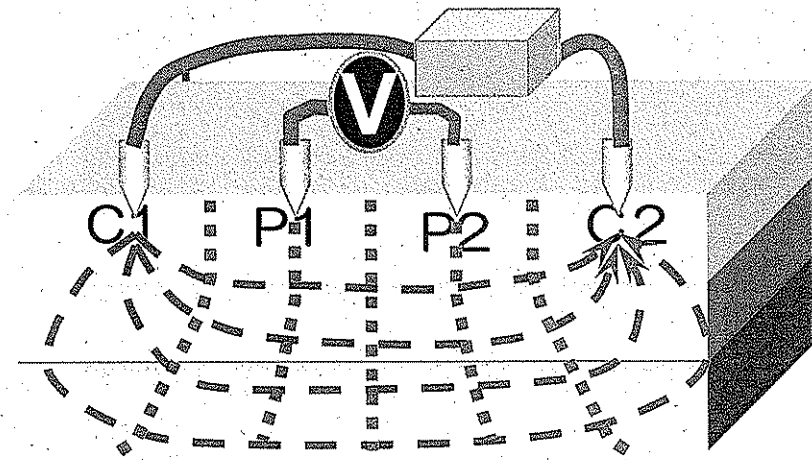
1) 電気探査 (比抵抗2次元探査等)

深度500m以浅の浅い探査向き

- ・低比抵抗部は断層・多亀裂帯
温泉の賦存確率が高い



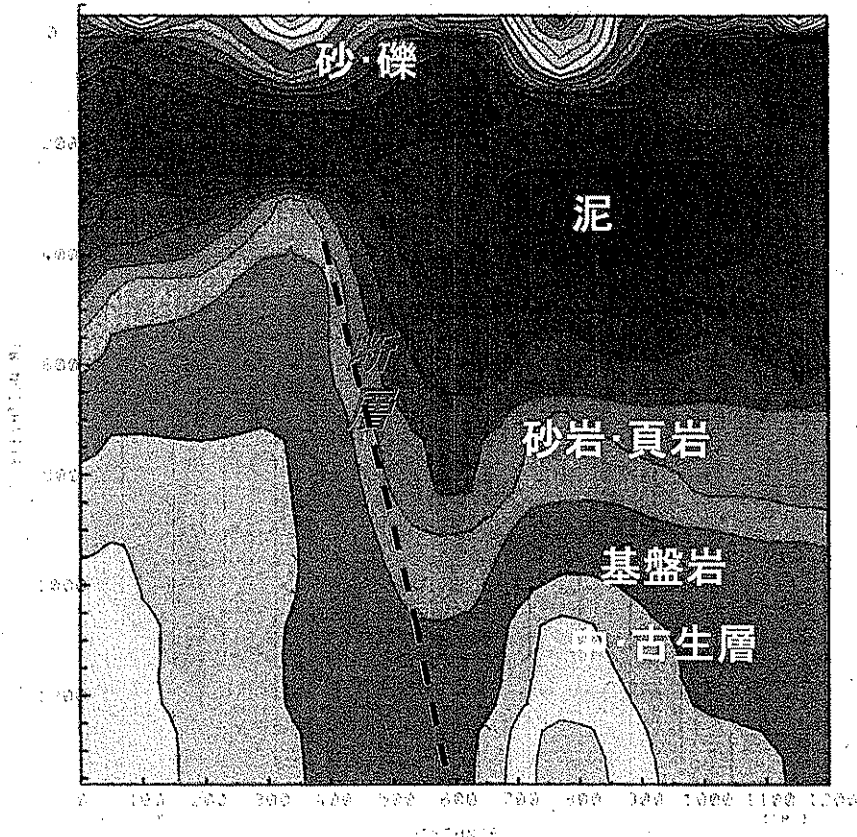
電極(C1,C2)に電流を流し
電極(P1,P2)で電位差を測定



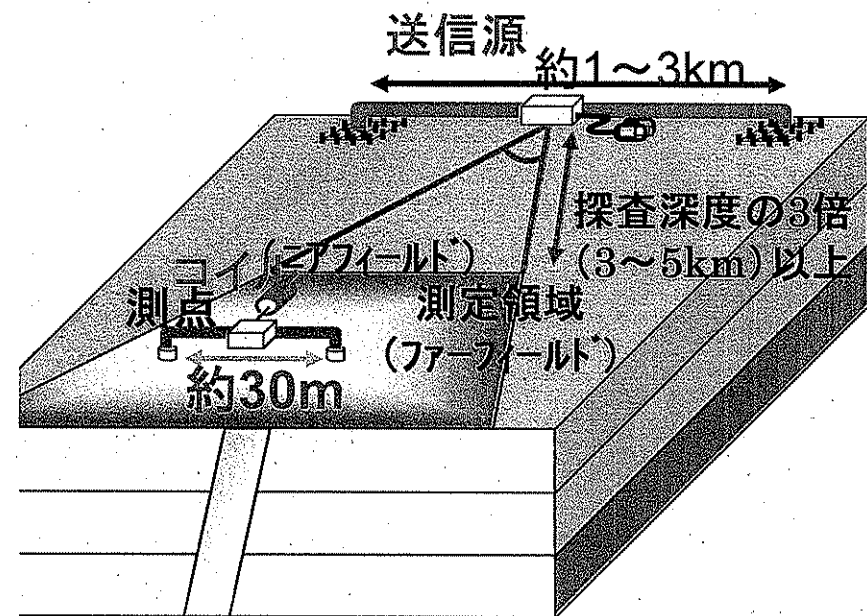
2. 物理探査

2) 電磁探査 (CSAMT探査等)

深度500m以深の探査向き



- ・低比抵抗部は断層・多亀裂帯
温泉の賦存確率が高い



2. 物理探査

3) 放射能探査 (ガンマ線測定法等)

- ・地球内部から放出される自然放射能測定
- ・断層や裂か部などを検出
- ・測定方法: ヘリボーン, カーボーン, マンボーン

